

風

特集

2024年4月始動! 新学部・新学科の紹介 01

Special Interview

教員研究紹介 03

クローズアップ相大生 04

Club Introduction

オリエンテーリング部 05

SUGIYAMA News

学内のニュースを紹介 06

Career Support Information

キャリアサポート情報 09

OG INTERVIEW

卒業生の今 11

Information

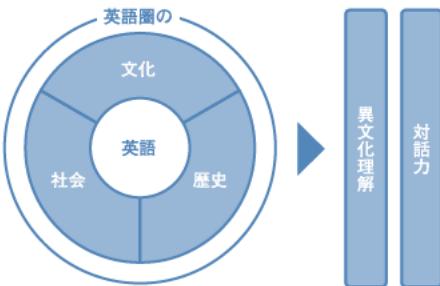
大学関連情報 13



■ 管理栄養学科 》》食と健康を支える、時代が求める管理栄養士へ

■ 生活環境デザイン学科 》》ものづくりに関する確かな企画力・デザイン力を学び、将来のキャリアにつなぐ

■ 英語英米学科 (設置構想中) 》》高度な英語運用能力を身につけ、グローバルに活躍



- 【科目例】
 ●国際キャリアデザイン ●世界の英語文学
 ●Academic English ●海外文化研修プログラム
 ●Communication in Business

学びの特色

- ▶コミュニケーション重視の教育で、資格英語対策の授業も展開
- ▶映画、音楽、演劇などを通じて生きた英語を学ぶ
- ▶英語を用いる社会関連プログラムもあり、多彩な留学制度も充実

キャリアイメージ

- ▶英語で業務を行う職場で活躍
- ▶地球規模の課題に取り組み、英語力を生かして国際的な舞台で活躍
- ▶コミュニケーション力を生かしホスピタリティ系職種で活躍



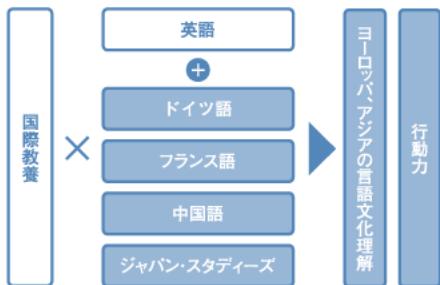
想定される進路

- エアライン／ホテル／商社／貿易／外資系企業／国際協力機関／大使館・領事館／旅行会社／国際観光施設／通訳・翻訳家 ほか

取得できる資格

- 中学校教諭一種免許状(英語)／高等学校教諭一種免許状(英語)／学芸員／司書／司書教諭／J-SHINE(小学校英語指導者資格)／日本語教員

■ 国際教養学科 (設置構想中) 》》英語プラスワンの外国語力を携えて世界と渡り合う



- 【科目例】
 ●グローバリゼーション論 ●中国語コミュニケーション
 ●世界中のヨーロッパ ●海外文化研修プログラム
 ●アジア交流論

学びの特色

- ▶各言語コミュニケーション重視の教育で、資格対策の授業も展開
- ▶各地域の文化や歴史を深く学ぶ
- ▶学びと関連する実践プログラムもあり、留学制度も充実

キャリアイメージ

- ▶複数の外国語運用力を生かして世界に向けてアジア・日本の文化を発信
- ▶国内外で地球規模の課題解決に向けて、異文化間の調整を行う
- ▶コミュニケーション力を生かしホスピタリティ系職種で活躍



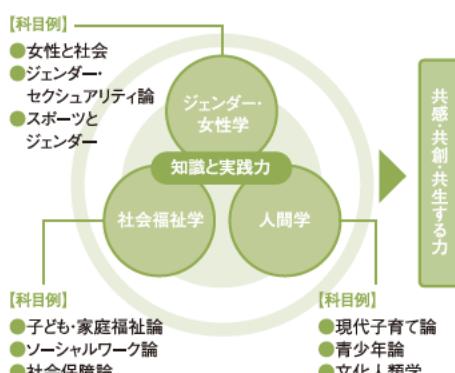
想定される進路

- 大使館・領事館／商社／外資系企業／国際協力機関／エアライン／ホテル／旅行会社／国際観光施設 ほか

取得できる資格

- 学芸員／司書／J-SHINE(小学校英語指導者資格)／日本語教員

■ 人間共生学科 (設置構想中) 》》ジェンダー、福祉、子ども／若者。多様化する人と関係性を探究し、未来を共創する担い手へ



学びの特色

- ▶ジェンダー、セクシュアリティ、女性学の科目は私立女子大最大級で充実
- ▶幅広い視野、細やかで徹底した指導による社会福祉士の養成
- ▶関心に合わせて学びをデザインする「モジュール履修制度」を採用

キャリアイメージ

- ▶自分らしいライフキャリアを描き行動できる自立した女性
- ▶多様な人と共に生きる社会を創るクリエイティブな福祉専門職
- ▶人間関係の学びを生かし、身近な人々や社会への課題解決に挑戦



想定される進路

- 行政・病院・相談機関・特例子会社等
 ソーシャルワーカー／公務員／一般企業
 (人事・労務・教育部門)／金融・保険業／販売・サービス業／NPO・NGO ほか

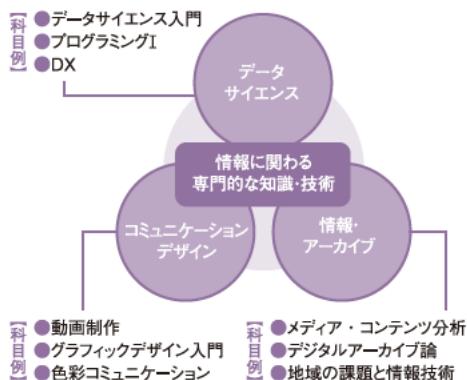
取得できる資格

- 中学校教諭一種免許状(社会)／
 高等学校教諭一種免許状(公民)／社会福祉士
 (受験資格)／学芸員／司書／司書教諭

■ 心理学科 》》こころの不思議に科学的にアプローチ。多彩な心理学を社会に生かす

栃山女子学園大学は、7学部11学科を有する女子総合大学です。教育の質を磨き続け、自ら可能性を切り拓く人材を輩出してきました。2024年4月、さらに学びを進化させ新しい栃山がはじまります。

■ 情報デザイン学科 (設置構想中) 〉〉 情報社会のニューノーマル データ×デザインで未来創造



学びの特色

- ▶文系出身者に配慮し、基礎から情報教育プログラムがスタート
- ▶AI、デザイン、アーカイブに関する高度な発展的学修へ展開
- ▶技術修得のための実習ほか実践的指導を多数導入



キャリアイメージ

- ▶データ分析やAIによる問題解決ができるデータサイエンティスト
- ▶膨大な情報から価値のある情報を設計できる情報デザイナー
- ▶図書館・博物館に先端技術を活用するデジタル情報資源のプロフェッショナル

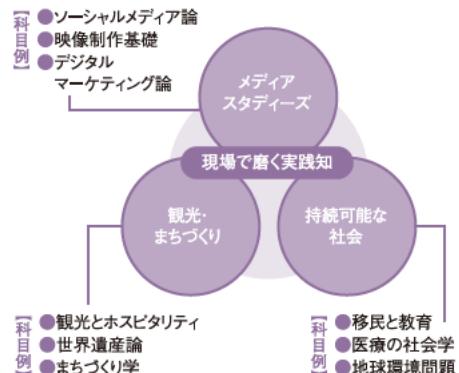
想定される進路

- システムエンジニア／プログラマー／Web制作／アプリ開発／アニメ制作／ゲーム開発／広告・広報／司書／学芸員 ほか

取得できる資格

- 高等学校教諭一種免許状(情報)※1／学芸員／司書／司書教諭／学芸員／社会調査士

■ 現代社会学科 (設置構想中) 〉〉 持続可能な社会をフィールドから構想し、課題解決力を養う



学びの特色

- ▶地元企業や自治体と連携して地域の問題発見・課題解決を行う「プロジェクト型学修」に全学生が参加
- ▶現場体験を通して、将来の生き方・働き方を考える実践的キャリア教育



キャリアイメージ

- ▶現場取材や情報伝達スキルを備えたメディア専門職
- ▶地域の魅力発信や商品開発を手がける観光・まちづくりプランナー
- ▶自治体・企業と連携し地域の課題解決を担うコミュニティデザイナー

想定される進路

- 放送・番組制作／新聞・出版・Webメディア／広告代理店／旅行会社・ホテル／観光協会／公務員／不動産・建設／地域金融機関／NPO・NGO ほか

取得できる資格

- 中学校教諭一種免許状(社会)※1／高等学校教諭一種免許状(地理歴史)※1／学芸員／司書／司書教諭／社会調査士

■ 現代マネジメント学科

〉〉 ビジネスを多角的な視点から考察し、社会を動かす
実践的な力を育む

■ 子ども発達学科 (保育・初等教育専修 初等中等教育専修)

〉〉 変化する教育現場、多様化する子どもたちに、
強く優しく、輝く先生を

■ 看護学科

〉〉 変化が著しい看護の現場で、人と向き合いながら、
成長し続ける力を



*記載されている内容は予定につき、変更される場合があります。 ※1 情報デザイン学科の高等学校教諭一種免許状(情報)、現代社会学科の中学校教諭一種免許状(社会)及び高等学校教諭一種免許状(地理歴史)は、申請予定です。ただし、文部科学省における審査の結果、予定している教職課程の開設時期等が変更となる可能性があります。

Special Interview

教員研究紹介



VOICE 01

早川 幸博 教授
Hayakawa Yukihiro

看護学科

人的資源と地理的資源を生かして、
栃山女学園大学ならではの高齢者支援を考えたい。

内科医として高齢者診療や在宅医療に携わる中で、認知症の方とそのご家族への支援に関心を持ちました。日本では平均寿命と比べ、男女とも健康寿命が10歳くらい短いと言われます。2017年に教員として栃山女学園大学に赴任した際、真っ先にその溝を埋める取り組みがしたいと考えました。栃山女学園大学は、認知症に理解の深い街づくりをめざす「あいち認知症パートナー大学」に登録されています。大学の持つ人的資源と恵まれた地理的資源を活用し、過去には高齢者と学生による東山動植物園ウォーキングイベントを開催しました。さらに、栃山女学園大学オリジナルの活動として企画したのが、星が丘テラスの屋外デッキをお借りした「オレンジカフェ」です。看

護学部の学生と、認知症の方やご家族をはじめとする地域住民の方々との交流を図るイベントで、当団は、栃山女学園大学シンフォニーオーケストラのアンサンブル演奏も加わり、和やかなひと時となりました（関連記事8ページ）。

健康寿命の長さには、運動習慣や栄養、さらには孤独でないことが関係しています。少子高齢化により認知症人口は増え続け、専門職だけで支えるのは物理的に難しくな



るでしょう。それだけに、高齢者が地域の中で穏やかに過ごせる環境を作るのも私たちの課題だと感じています。20代前半の学生们たちが死や老い、病を実感するのは難しいかもしれません、常に相手の心に寄り添いながら、想像力を働かせることが大切。目の前の事象をしっかりと見て、自分自身の価値基準で判断することが望されます。患者さんを笑顔にし、時には涙で感謝されるのが医療の仕事の醍醐味。決して特別な人間でなくとも、誠実な医療従事者であれば誰でも経験できることです。患者さんから逆にエネルギーをもらえ、成長できる喜びを多くの学生に知ってほしいと思います。

クローズアップ栃大生



VOICE 02

浅野 有希奈 さん (左)
Asano Yukina

浅野 有里奈 さん (右)
Asano Yurina

子ども発達学科 4年

子どもたちが安心できるような環境づくり—
そんな日をめざして私たちは挑戦し続けます。



【有希奈さん】 栃山女学園大学に入学する前は、漠然と子どもと関わる仕事がしたいと思っていたが、大学での学生ボランティアの活動を通して小学校教員になりたいと強く思うようになりました。

教育実習では、担当の先生が授業中と授業外で呼び方を変えるなど、メリハリをつけて児童と接している姿を見て、それを参考に

して子どもたちと接しました。

これからは、児童の個性を大切にする先生になり、子どもたちが学校やクラスを楽しむと思ってくれるような環境をつくりたいです。そして、子どもたちの考えを生かせる授業をしたいと思っています。

【有里奈さん】 私が通っていた栃山女学園大学附属幼稚園の先生に憧れ、その先生に近づきたいと思い、この学科に進学しました。

教職論の授業では、教師という仕事について学び、教師には高いコミュニケーション能力が必要だと学びました。そして、この授業を通して子どもたちとコミュニケーションをしっかりとることで、児童一人ひとりと向き合うことができると思うようになりました。

これからは、子どもたちの心の拠りどころになれる先生になりたいと思っています。子どもたちに寄り添い、家族の次に頼ってもらえるような先生をめざしています。

【最後に2人から】 小学校教員になるには、何事にも挑戦することが重要です。挑戦することで経験が増え、子どもと接するときに話すきっかけになります。常に挑戦することを忘れないことが、教職をめざす上で大切なことだと思います。

(取材:新聞報道部 森谷美月)



Club Introduction

クラブ紹介

オリエンテーリング部

部長

牧 花音さん
Maki Kanon

教育学部
子ども発達学科3年

コンパスと地図だけを頼りに
進んでいくワクワク感。
自然が織りなす新鮮な空気が
心をリフレッシュさせてくれます。



オリエンテーリングは、コンパスと地図だけが頼り。地形を読み、今どこにいるのか、進む方向を考えながら山中を進みます。元々体育会系でない人でも、正確に方向を読めれば、早くゴールすることができます。部員のほとんどが初心者で、私も入学と同時にオリエンテーリングを始めました。当初は、お

昼ご飯も食べられずに半日間、山中をさまよいました。それでも活動を続けた結果、ミスなく周れるようになりました。この時に、心から楽しいと感じました。

休日は、東海三県の山で練習に取り組み、夏と冬には希望者が、富士山の麓で合宿をします。山に行くことは気分転換にもなり、大学の勉強では得ることのできない非日常的な体験が楽しいです。

私たちオリエンテーリング部は、2022年2月に開催された学生日本一を決める大会、日本学生オリエンテーリング選手権大会リレー部門で、準優勝することができました。また、2022年11月に開催された日本学生オリエンテーリング選手権大会に出場した今井里奈選手（4年）が、2023年開催の全日



本オリエンテーリング選手権大会のロングセレクション出場枠を獲得しました。

今後の目標は、日本学生オリエンテーリング選手権大会の出場枠をひとつでも多く獲得すること。初心者でも十分入賞が狙えるオリエンテーリング。ぜひ一度体験しに来てください！

（取材：新聞報道部 加藤ひかる）



その他の
ニュースは
こちらから



01 第61回 梶大祭を開催

10月15日（土）と16日（日）、星が丘キャンパスにおいて、第61回梶大祭を開催しました。今年のテーマは「EN」。厳しい状況下でも全員で“円”となり、梶大祭に関わる全ての人と出会えた“縁”を大切にして創り上げていこう、という想いが込められています。

サークルやゼミが出店した模擬店、音楽などが行われた屋外ステージ企画をはじめ、企業とのコラボ企画など、来場者を楽しませるユニークな内容で、会場は終日盛り上がりを見せました。

なお、今年は昨年に引き続き、事前予約制とし、新型コロナウイルス感染症対策を十分にした上で開催しました。



02 令和4年度 「父母の集い」を開催



9月24日（土）、令和4年度「父母の集い」を開催しました。

「父母の集い」は、在学生の保護者の皆さんに本学についての理解を深めていただくことを目的に、大学および大学振興会が企画しているもので、今年度は、各学部棟の教室で映像中継と対面を併用して行いました。

深谷尚義大学振興会長のあいさつの後、黒田由彦学長が、教育内容、コロナ禍における対面授業、学部改組など、本学の現状を報告しました。続いて、渡部眞也キャリア支援課長から本学の就職実績をはじめ、就職活動の現状や本学のキャリア支援について説明しました。

その後、学部別の説明会を各学部棟の教室において対面で実施し、学部長のあいさつをはじめ、教員による教育内容の説明、在学生による学生生活の紹介、学部によっては、卒業生による近況報告なども行いました。

その他、学部棟見学ツアーを実施し、保護者の皆さんと教職員が親睦を深める貴重な機会となりました。

03 第18回 梶山ホームカミングデイを開催

11月5日（土）、星が丘キャンパスにおいて、第18回梶山ホームカミングデイを3年ぶりに開催し、遠く茨城県から参加したOGなど、大勢の卒業生に出席していただきました。

長澤唯史学長補佐と下野房子大学同窓会長のあいさつの後、卒業生（ライター・著者の華井由利奈さん／国際コミュニケーション学部卒と漫画家の岡本慶子さん／短期大学部卒）による講演会を行いました。引き続き、大学教員（雨宮勇名誉教授、生活科学部の大口健司教授、現代マネジメント学部の東珠実教授）のミニ講演会も開催。

久しぶりの再会に卒業生らは、学生時代にタイムスリップしたような気分になり、いつまでも話に花を咲かせていました。



04 4名の交換留学生が黒田由彦学長を表敬訪問

9月26日（月）、交換留学生が、笠原正秀国際交流センター長とともに、黒田由彦学長を表敬訪問しました。

本学は現在、アメリカ、カナダ、オーストラリア、中国、台湾、韓国、タイ、マレーシアにある9大学と交換留学協定を結び、相互に最長1年間の学生交換交流を行っています。今回は、タイ、マレーシア、台湾から4名の交換留学生を迎える入りました。

黒田学長は、「皆さんの日本語を話そうという前向きな姿勢がとても素晴らしいです。勉強だけでなく、課外活動や日本文化に触れるイベントに積極的に参加して、楽しい時間を過ごしてください」と温かなエールを送りました。



05 マルエイガレリアのハロウィーン装飾の取り組み

生活環境デザイン学科の山下研究室が、マルエイガレリア（開発・所有・運営：大和ハウスリアルティマネジメント株式会社）との産学連携プロジェクトとして、ハロウィーン館内装飾「マルエイガレリアモンスター ハッピーハロウィーン」を取り組みました。

マルエイガレリアは、「食」をメインとした商業施設で、今回の装飾では、「各店舗の名物商品がモンスターになって館内をいたずらする」というコンセプトで、23店舗のキャラクターを山下研究室3年の敦賀麻莉子さんと水野真凜さんがデザインし、研究室の学生が協力して館内の装飾を制作、設置しました（一部装飾は協力企業による制作）。館内の至る所の天井にモンスターが吊るされ、ハロウィーンを盛り上げます。また、期間中はスタンプラリーも開催され、使用するスタンプもデザイン・制作しました。

学生は、コンセプト立案、デザイン、制作、設置まで行うことで、実現させるためにはどのくらいの検討や準備が必要なのかを経験し、館内装飾の理解を深めることができました。



06 協定校米国・デイトン大学がブログで本学学生を紹介

国際コミュニケーション学部の中期留学協定校のアメリカのデイトン大学（オハイオ州）のブログに、本学の学生が掲載されました。

掲載されたのは、中期留学中の国際言語コミュニケーション学科2年の木下遙香さん、梶川英里子さん、向真歩さん、片桐友芽さん。アメリカの国際教育週間（IEW）で、「米国国務省と米国教育省の共同イニシアティブ：米国人がグローバルな環境に対応できるようになるためのプログラムを推進し、海外から将来のリーダーを招き、学習や経験の交換を促す取り組み」の一環として、本学から中期留学でデイトン大学を訪れている学生たちが取り上げられています。



07 認知症サポーター養成講座を開催



10月27日（木）、人間関係学科で日進市中部地域包括支援センターから2名の講師をお招きし、認知症サポーター養成講座を開催しました。

本学は、「あいち認知症パートナー大学」として登録され、「認知症に理解の深いまちづくり」の実現に向け、定期的に認知症サポーター養成講座を開講しています。

今回は、社会福祉士の資格取得をめざす30名の学生が、認知症の方やその家族に対して、できる範囲で手助けする認知症サポーターをめざしました。

講座では、映像を用いて認知症の日常生活における困りごとに對し、望ましい対応事例を紹介。講師からは、記憶障害や見当識障害など、認知症の中心になる症状について説明を受け、認知症の人とその家族を地域で支えることが重要であることを学びました。また、認知症役に対し、学生が話しかけるロールプレイも体験しました。

08 歴史的町並みの残る妻籠宿で観光まちづくり研修を実施

9月9日（金）、文化情報学科の今村ゼミの3年生が、観光まちづくり研修として、長野県南木曽町の妻籠宿を訪れました。

妻籠宿は、江戸時代の宿場町の風情を今に伝える歴史的町並みを有し、日本における町並み保存運動と、住民主体の観光まちづくりの先進地域として知られています。

まず、妻籠宿案内人の会のガイドの方の案内で、街道沿いの町並みや脇本陣奥谷、歴史資料館を見学しました。さらに、妻籠を愛する会の藤原理事長から、妻籠の町並み保存運動や観光まちづくりの取り組みの歴史について、お話を伺いました。

今回の研修で、妻籠を愛する地元の方の熱意と50年にもわたる努力と持続的な観光まちづくりのあり方を学びました。



09 「Women Business Entrepreneurs」で特別講義を実施

10月19日（水）、現代マネジメント学科の「Women Business Entrepreneurs」（担当：樋山泰生教授）において、株式会社Jocy（本社：東京都渋谷区）代表取締役の鈴木みづほ氏を講師に招き、特別講義を行いました。

鈴木氏には、「ビジネスモデルはどう作られるか」をテーマにお話いただきました。美容院のサブスクリプションモデルという非常にユニークなビジネスモデルのアイデアを得たきっかけ、アイデアが具体的なビジネスプランになるまでの取り組み、事業を立ち上げてからの価値提案の内容の変化などについて、お話を伺いました。また、鈴木氏が起業に至るまでのキャリアや起業家になろうとした経緯などについても教えていただきました。



10 オレンジリボンキャンペーンの標語で児童虐待防止を呼びかけ



この度、千種区役所（名古屋市千種区）で、「オレンジリボンキャンペーン（児童虐待防止推進月間）」の標語募集があり、186通の応募の中から子ども発達学科の4名の学生が入選しました。

11月1日（火）、千種区役所で表彰式が行われ、矢野克典千種区長から賞状と記念品が贈されました。特に最優秀賞に選ばれた標語は、1年間千種区の児童虐待防止の啓発で活用されます。

また、11月末まで、千種区役所あじさい広場（1階ロビー）に、教育学部の学生が作成した児童虐待防止について理解を深める掲示や標語をアピールするボードが展示されました。

11 認知症への理解や情報交換を行う「オレンジカフェ」を開催



11月13日（日）、看護学科の早川幸博教授と有志のゼミ生が、「オレンジカフェ」を星が丘テラスで開催し、大勢の方に参加していただきました。

オレンジカフェは、認知症の人やそのご家族、この地域にお住まいの方、医療や介護の専門職など、誰もが気軽に集い、仲間づくりや情報交換ができる場で、今回、初めて開催しました。

学生は、認知症の方、そのご家族、あるいは医療分野で活躍の方々と情報交換をしました。

学生にとっては、さまざまな方と直接お話することができ、貴重な時間となりました。

なお当日は、本学のシンフォニーオーケストラのアンサンブル演奏も開催されました。

本学は、「あいち認知症パートナー大学」に登録されています。今後も認知症に理解の深いまちづくりに貢献していきます。

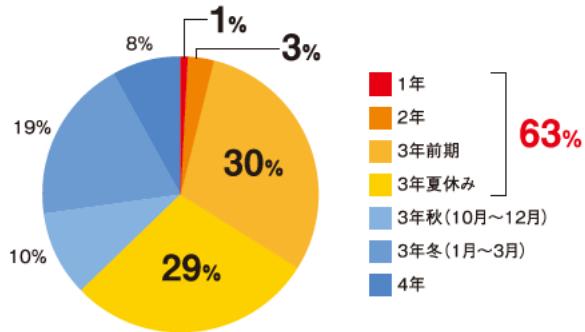
Career Support Information

先輩からの100の
就活アドバイス

2022 梶大4年生一斉就活アンケート 結果レポート

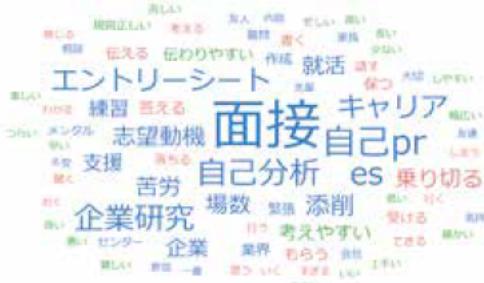
就職活動を終了した2023年卒の先輩に2022年10月に一斉アンケートを実施しました。先輩たちのリアルな就活の声の一部をレポートします!

Q1 就活はいつからスタートしましたか？



回答者の6割以上が3年生の夏休みまでに就活を本格化したと回答。夏のインターンシップへの参加が大きなきっかけになっているようです。

Q3 就活で一番苦労したこととそれをどうやって乗り切ったか教えてください。



アンケート結果をテキストマイニング（文章を対象としたデータマイニング）により分析したところ、「面接」という単語がクローズアップ。先輩たちの多くが面接に苦労したようです。解決策としては、「練習」があるのみ。キャリア育成センターをはじめ、友人などまわりを徹底的に活用していたようです。



自分の思いを上手く言葉にできなかったこと。キャリア支援課で面接練習をしていただいたり、過去の先輩の面接で聞かれたことを参考にシミュレーションを重ねることで、臨機応変に答えられるように練習を行った（生活科学部）。

Q2 採用において有利に働いたと思う資格はありましたか？

1位	特になし
2位	普通自動車運転免許
2位	ITパスポート
上記以外で多い回答	TOEIC、マイクロソフト オフィス スペシャリスト(MOS)、簿記

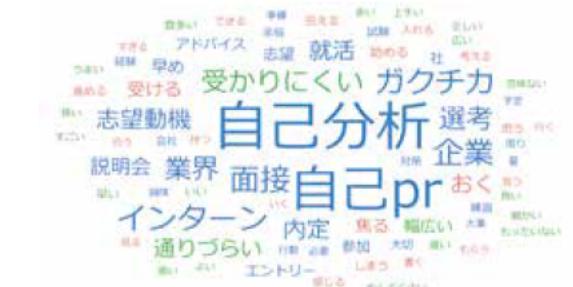
意外にも重要度が高いと回答が集まった資格が「普通自動車運転免許」。企業側からも「事務職志望でも持っていて欲しい」という声をよく聞きます。



〈ITパスポート〉

ITに関する基礎知識を持っていることの証明ができるのに加えて、ITへの興味関心を学生のうちから持っていたことを伝えることができたから（現代マネジメント学部）。

Q4 もし就活始めたころの自分に伝えられるなら何をアドバイスしますか？失敗談があれば教えてください。



テキストマイニングの分析結果で大きくクローズアップされた単語は「自己分析」。これに繋がる形で早めの自己PRやガクチカの文章の作成、また企業研究をしっかりやっておくべきだったという声がありました。



エントリーシートの作成をもっと早く進め、志望動機に力を入れるようにアドバイスしたいです。エントリーシートはブラッシュアップを何度もした上で、遅くとも3年生の12月までに完成させなければよかったです（人間関係学部）。

詳しいアンケート結果はキャリア育成センター学生向け情報サイトで公開中！

他にもこんな質問に先輩がアドバイス！

- ◆1・2年生でやっておいたほうが良かったなと思うこと
- ◆インターンシップ参加のメリットと参加数 ◆面接突破のコツ
- ◆面接で話したら印象の良かった話 ◆自分の強み（長所）の見つけ方
- ◆就活中でメンタル的につらかったこととリカバリー術

▶コチラから
※閲覧にはS*map認証が必要です。



先輩たちの就活体験インタビュー動画も配信中！
「先輩たちの就活ストーリー」



◆2023年度就活支援 主なイベントスケジュール(予定)

学年	月	企業就職・公務員対象			保育職・教員 (教育学部)	看護学部
		知る	実践	出会う		
2年生	5	2023夏期キャリア形成実習ガイダンス			教員志望者には 教職サポートルームで 別途支援します。 全学部の学生対象	
	10	2年生のためのプレ就職ガイダンス				
	11	2023春期キャリア形成実習ガイダンス				
	2	第1回就職ガイダンス(就職活動の進め方)				
	3	親子で聞く保護者向け就職説明会				
3年生	4	第2回就職ガイダンス(自己分析の方法と強みの見つけ方) 第3回就職ガイダンス(自己PRの作り方)			就活スタートアップ講座	
	5	第4回就職ガイダンス(業界・職種・企業研究) 2023夏期キャリア形成実習ガイダンス リクナビ就活質問会 わたしに向いている業界解説講座				
	6	第5回就職ガイダンス(インターンシップ 応募方法とES・志望動機の書き方) エントリーシートブラッシュアップ講座 管理栄養学科対象ガイダンス 公務員ガイダンス 事務職セミナー インターンシップ面接対策講座	第1回SPI能力検査	インターンシップ合同企業説明会		
	7	第6回就職ガイダンス(インターンシップの マナーとグループディスカッションの進め方)	グループディスカッション 練習会			保育職志望3年生対象 就職ガイダンス
	8	就活準備チェックセミナー	筆記試験用:数学の基礎・ 思い出し講座			
	9		公務員対策模擬試験			
	10	第7回就職ガイダンス(インターンシップの 振り返りと秋冬にやるべきこと) 今日から就活はじめるガイダンス				就活の始め方フォローアップ講座
	11	第8回就職ガイダンス(面接対策と説明会・選考のマナー) エントリーシート仕上げ講座 2023春期単位認定型インターンシップガイダンス U-Iターン就職相談会 IT業界セミナー	第2回SPI能力検査 早期選考対策グループ面接 練習会(11月~1月)	業界研究セミナー		各自治体教員採用試験 説明会(11月~12月)
	12	総合職と一般職の違い講座 総合職対象ガイダンス	面接マナー講座(12月~1月)	内定者・OG交流会 公務員合格者体験談報告会 管理栄養学科内定者報告会		就職説明会・先輩たちの就活ストーリー 自己理解・応募書類作成ワーク講座
	1	第9回就職ガイダンス(本選考の進め方と 求人の探し方) 直前面接&グループディスカッション対策講座 逆求人セミナー リクナビ就活質問会	グループ面接・ グループディスカッション練習会	学内合同企業説明会 紹介イベント		履歴書対策講座
4年生	2		グループ面接・ グループディスカッション練習会	学内合同企業説明会 生活環境デザイン学科 企業説明会	保育職志望3年生対象 自己理解セミナー	病院案内会
	3					面接対策講座
	4	就活振り返り講座			各自治体教員採用試験 説明会(4月~5月)	
全学年対象	7	就活リストート講座				
	11	エアライン業界セミナー				
	12			エアラインシンポジウム		
未定			学外エアライン研修			

※2023年1月時点の計画で決定内容ではありません。開催時期・内容については、変更される可能性があります。随時キャリア育成センターの幅キャリメール及び学部等からの連絡で情報を確認してください。

OG INTERVIEW

子どもたちの未来を考えながら、一緒に成長できる。
ずっと学びのある仕事で興味が尽きません。

名古屋市では全110校の中学校等に常勤のスクールカウンセラーを配置し、さまざまな悩みや心配事を抱えるお子さんや保護者を総合的に支援しています。また、市内を12ブロックに分け、各ブロックに活動の拠点として事務局を設置。臨床心理士などの資格を持つ「スクールカウンセラー」、福祉面からアプローチする「スクールソーシャルワーカー」、庶務事務担当の「スクールセクレタリー」、見守り活動を行う「スクールポリス」で構成され、さまざまな専門性を生かしながらチームで活動します。私は主任総合援助職として、チーム会議等ブロックの運営、ケースの方針決定など、担当ブロック全体を統括する役割を担っています。

私は実社会を経験してから、心理の仕事をめざして栃山女学園大学人間関係学部へ編入。人間関係学研究科まで進み、臨床心理士と公認心理師の資格を取得しました。栃山女学園大学を選んだのは、社会人入学の受け入れ体制、図書館の蔵書の多さ、そして臨床心理士の合格率を見て教育の質の高さを感じたからです。人間関係学研究科修了後は、医療機関での心理臨床業務

や市町村が運営する教育相談所で相談業務、適応指導教室の運営等に携わりました。ただ面談室で話を聞くだけでなく、友達と遊ぶ姿など日常場面を見て関わることが、総合的な支援につながります。しかし過剰な支援は自立の妨げにも。相手を心配するあまり距離が近くなり過ぎないよう、自分自身の行動を客観的に振り返ることも心がけました。この仕事に就いてから、臨床心理学の授業で聞いた先生の言葉がよく思い出されます。特に、「大切なことはクライアント（支援対象者）さんが教えてくれる」という言葉が印象に残っていて、面談をする時に頭の片隅に置いています。知識は、持っているだけでは役に立ちません。知識と体験がつながって初めて自分のものになると実感しています。

現在は全体を統括する立場から個別の面談機会は減っていますが、個人個人の状況を把握するため、記録や資料を読み込むことが欠かせません。緊急連絡用の専用携帯を常に持ち歩き、現場の職員からの相談に対応し、心配なケースの場合は直接学校へ飛んでいくことも。日々、命に近いところで仕事をしているという実感がありますね。心身ともに大人へと向かう途上で、中学生も葛藤を抱えています。決して子ども扱いするのではなく、ひとりの人間として向き合うことが大切。悩みを抱えていたお子さんが、進路が決まって未来に向かって卒業していく姿を目にするのが一番のやりがいです。子どもたちの未来を考えながら自分も一緒に成長できる。ずっと学び続けられる仕事で、興味が尽きません。



名古屋市教育委員会
新しい学校づくり推進部
子ども応援室 主任総合援助職

人間関係学部 臨床心理学科
(現心理学科)卒業
人間関係学研究科 人間関係学専攻
臨床心理学領域 修了

篠田 真希 さん

Shinoda Maki



Must item

「栃山女学園大学で学んだことを生かし、臨床心理士として成長してください」「地道に丹念に仕事を続けて」「自分の心が重くならないようONとOFFを上手に切り替え、遊び心を大切に」…。大学院を修了する際、先生方からいただいたメッセージカードです。お世話になった先生方の顔が思い浮かび、現場に出る時の背中を押してもらいました。





Info 01

令和4年度のベストティーチャー賞は 管理栄養学科の大口健司教授

令和4年度のベストティーチャー賞に、管理栄養学科の大口健司教授が選ばされました。

この賞は、本学教員の意欲向上と大学教育の活性化を図ることを目的に毎年選定されるもので、学生アンケートによる評価など総合的に審査し、選定された教員の功績を表彰するものです。

9月24日（土）に開催された「父母の集い」では、その授賞式が行われ、黒田由彦学長から大口教授に表彰状が手渡されました。

大口教授は、「学生のため、質の高い教育ができるように、これからも邁進してまいります」と抱負を語りました。



Info 02

管理栄養学科の加賀谷みえ子教授が栄養士養成労者として 栄養関係功労者厚生労働大臣表彰を受賞



9月12日（月）、管理栄養学科の加賀谷みえ子教授が、栄養士養成労者として、「令和4年度栄養関係功労者厚生労働大臣表彰」を受賞しました。これは、栄養士・管理栄養士の養成のため、特に顕著な功績のあった方を表彰するものです。

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、表彰式が中止になったため、黒田由彦学長から受賞が伝達されました。

加賀谷教授は、栄養士科目や教職科の分野で、栄養士・管理栄養士・家庭科教諭・栄養教諭の養成のための教育・研究に尽力されました。その教育経験を生かし、栄養士・管理栄養士養成課程のために、多くの教科書や実習書を執筆。学会活動では、日本食生活学会理事、日本調理科学会代議員・東海北陸支部役員を務めるなど活躍しています。さらに、栃山女子学園食育推進センターの主任として、保育園・こども園・幼稚園から大学・大学院に至るまで、女性のための総合学園において、食育活動を推進し、健康増進に努めてきました。

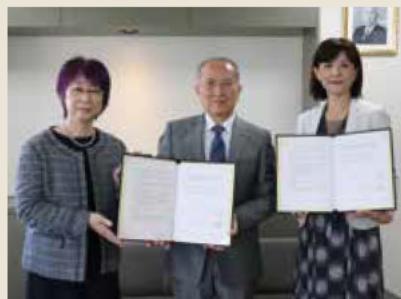
Info 03

福井県との就職支援に関する協定を締結

10月1日（土）、本学は、福井県と就職支援に関する協定を締結しました。

同協定は、福井県と本学が連携・協力し、就職・企業情報や福井県での暮らしに関する情報を学生・保護者などに積極的に提供することで、福井県での就職促進を図ることを目的としています。本学の就職支援協定は、同協定にて2自治体目となります。北陸中部の自治体とは、初の締結です。

締結に際し、福井県名古屋事務所長の岩下美樹氏が来校され、黒田由彦学長、吉田あけみキャリア育成センター長と協定書が手交されました。



Info 04

寄付金による施設設備・教育充実事業

新入生の保護者の皆さんにご協力を願っております「施設設備・教育充実寄付金」は、2021年度に278万円のご寄付を頂戴いたしました。この場をお借りしまして厚くお礼申し上げます。

この寄付金（累積額を含む）を利用して、施設設備および教育の充実を図るために、2022年度に次の事業を実施したことを報告申し上げます。

○国際コミュニケーション学部：教室・廊下の網戸の設置（719千円） ○教育学部：電子黒板システムの増設・更新（3,483千円）

なお、2022年度に実施していない学部については、2023年度以降での事業を予定しています。今後とも、ご支援ならびにご協力をお願い申し上げます。

学長 黒田 由彦

Info 05

新聞報道部が編集協力した新聞が併設校に寄贈

11月4日（金）、相山女学園高等学校の生徒向けに「読売中高生新聞」が寄贈されました。これは、相山女学園大学新聞報道部が、8周年を迎える同紙11月4日号で愛知県や名古屋市の魅力を発信する巻頭特集「再発見！JAPAN」の企画と編集に協力したことから実現しました。

当日は、読売新聞中部支社販売局の山本修平氏らとともに、部員4名が同席するなか、全校生徒数分の同紙1,200部が寄贈されました。

カラーの紙面を生かして、「インスタ映え」関連トピックを全面に出すことを編集の方針としたことから、別小江神社のカラフルな和傘紹介に、高校生が「色合いが綺麗で可愛い、写真映えする」と率直な感想を口にする傍らで、大学生の部員もとても嬉しそうな表情を浮かべていました。同行した文化情報学部3年の江口奈穂新聞報道部長は、「寄贈紙で、中高生も愛知の良さを再発見し、新聞に親しむきっかけにしてほしい」と話していました。



Info 06

スイーツギフト「Récolte Aichi」を販売

管理栄養学科の学生が、イオンリテール株式会社と大和産業株式会社と協働したスイーツギフトが11月11日（金）から1月10日（火）まで販売されました。

管理栄養学科の学生を対象に行われたスイーツギフトコンテストで、最優秀賞を受賞した3年の金村柚実さん、2年の近藤真子さん、松本陽向さんの企画をもとに商品化。発売されたのは、八丁味噌を使用したガトーショコラと西尾抹茶や愛知県産いちごを使用したクッキーサンド（商品名：Récolte Aichi—レコルトアイチ）です。

学生たちは、「八丁味噌をスイーツに使用することが難しかった。自分で試作しながら、食べたい！と思ってもらえるスイーツを意識した」「ひとつの商品を作り上げる貴重な機会に携わることができた」などの感想を述べ、この企画から多くの学びを得たようでした。



Info 07

山本 莜さんが建築積算士補試験で優秀賞を受賞



生活環境デザイン学科3年の山本 莜さんが、7月に実施された建築積算士補試験において、公益社団法人日本建築積算協会から優秀賞を受けました。

建築積算士補とは、建築物の工事費の算定について、適正な基礎知識を有するものに与えられる資格で、建築積算士、建築コスト管理士という建築プロジェクトでのコストマネジメントのプロフェッショナル資格につながる入門資格です。本学など、協会が認定する建築積算士補認定校において、一定の建築積算の授業を受講し、認定試験に合格、登録した者に資格が与えられます。

優秀賞を受賞した山本さんは、「授業で取り組む練習問題で効率よく学修を進められた。また、自分で簡略化した図を描きイメージすることで、専門的な用語が多い試験を乗り越えることができました」と語りました。



Info 08

「かがやけ☆あいちサスティナ研究所」で林 祐月さんが参加したチームが最優秀賞を獲得

12月11日（日）、愛知県主催「かがやけ☆あいちサスティナ研究所」の成果発表会が名城大学（東区）で開催され、文化情報学科1年の林 祐月さんが参加したチームが最優秀賞を獲得しました。

「かがやけ☆あいちサスティナ研究所」とは、持続可能な社会を実現するために、企業・団体が取り組む環境課題について、大学生がグループで研究し解決策を提案するプロジェクトです。今年度は、愛知県内27大学から学生が参加し、本学から4名の学生が参加しました。

林さんは、「入学後に新しいことにチャレンジしたいと思い参加を決意。このプロジェクトで学んだSDGsの知識や意見を伝える難しさを生かして、さまざまなことに挑戦したい」と今後の大学生活への抱負を述べました。

◆イベント情報

Sugiyama Events

3
MARCH

- 6(月) 後期追・再試験成績発表
15(水) 卒業式
16(木) 春季休業(～31日)
24(金) 在学生ガイダンス(新2年生)
27(月) 在学生ガイダンス(新3年生)
28(火) 在学生ガイダンス(新4年生)

4
APRIL

- 1(土) 新入生オリエンテーション
3(月) 入学式
4(火) 新入生オリエンテーション
(学科により、実施の有無あり)
6(木) 前期授業開始

6
JUNE

- 1(木) 学園創立記念日(休日)
11(日) 第1回オープンキャンパス

7
JULY

- 9(日) 第2回オープンキャンパス
28(金) 前期定期試験[～8月3日(木)]

※イベントは中止または変更になる場合があります。最新の情報は、本学HPでご確認ください。

名古屋市博物館および徳川美術館との提携

名古屋市博物館 名古屋市瑞穂区

本学の学生は、学生証の提示のみで1年間に何度でも名古屋市博物館が主催するすべての展覧会を無料で観覧できます。

徳川美術館 名古屋市東区

本学の学生は、学生証の提示のみで1年間に何度でも徳川美術館に無料入館できます。

古本募金ご協力のお願い

2014年10月から開始された「楳山女学園大学古本募金」は、本学の卒業生、在学生、教職員などの大学関係者から提供された書籍等の買取金額が本学への寄付となり、その全額が奨学資金に役立てられる学生支援のプロジェクトです。皆さまのご協力により、2014年10月1日から2022年12月31日までに、2,276,986円(今年度は、238,024円)が集まりました。この場をお借りして厚くお礼申し上げます。集まった寄付金は、本学学生の奨学金として活用させていただきます。今後ともご協力をお願い申し上げます。



Sugiyama Jogakuen
University
KAZE
Vol.58



Editor's Note ◆編集後記

いま、大学には、新学部や新学科の創設(通称、改組)のための新しい“風”がふいています。イノベーションの権能をもった教員や事務職員がさまざまな形で、自由な発想で、豊かな知恵をしづらだしている。本誌の内容にも、その嘗みの一端がみてとれる。学内の授業やイベントの紹介も、外社会にたいしては、とても重要なメッセージになりうる。教員や卒業生(OG)たちの活躍を紹介する記事は、言うまでもない。なぜなら、地域社会への、そのようなメッセージの発信こそが、ひらかれた大学が、ひとつの有機体として存続するための証しにほかならないからだ。SUGIYAMAが、社会の“嵐”に淘汰されないためには、それぞれのメンバーがそれぞれの場において、現役の学生はもとより、次世代の学生をも惹きつけるしかないであろう。大学の魅力が、魅惑にまで深まることを期待しつつ、後記としたい。(Y.S)

楳山女学園大学報「風」第58号

発行日 2023(令和5)年3月1日
発行 楠山女学園大学
大学報「風」編集委員会
編集 楠山女学園
企画広報部広報課
編集委員会 横家純一／冨田和子／
山根一郎／樋口謙一郎／
石井雅治／山田真紀／
生田美智子／佐藤厚子／
原田明人
題字 鄭麗芸(文化情報学部教授)

〒464-8662
名古屋市千種区星が丘元町17番3号
TEL/052-781-5940
E-mail/kouhou@sugiyama-u.ac.jp

次号の発行は、2023(令和5)年8月の予定です。

楳山女学園大学
Webサイトはこちから



<https://www.sugiyama-u.ac.jp/>



SPIRIT!
可能性を切り拓く――。

2303-1-10600